

- 80年代を迎えて
- 学校保健委員会について
- 叙勲者と文部大臣表彰
- 日本学校保健会に対する理解と期待

The School Health (No.130)

昭和55年1月1日発行

(隔月発行)

学校保健

発行 日本学校保健会

東 俊 郎

〒105 港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル

電話 (501)3785・0968

振替口座 東京 4-98761

頒価1部100円(送料共)

賀 春



富士の初陽 (石川行男)

80年代を迎えて

会長 東俊郎

学校保健法の制定以来すでに21年。本会は、さきの評議員会で、昭和55年度の基本方針を次のように決定した。

「本会は、国の学校保健行政に協力し、加盟団体ならびに関係団体と連携を密にして、児童生徒の健康の保持増進に寄与する諸活動をする。今や健康の概念は拡大され、高齢化社会に対応するためにも、生涯をとおり新らしい健康観に立脚し、より積極的な

健康増進が要請されている。このためにも本会は、健康管理の拡充に努めるとともに健康教育の一層の充実をはかり、児童生徒には生命の尊厳を認識させ自主性の確立と社会連帯感の育成につとめたい。とのべ、児童生徒の健康状態や心身障害児童生徒の就学義務制に伴なう課題などをふまえ、たくましいからだ豊かな心をもった児童生徒の育成に努力する。」と。

学校保健委員会

地域と手をつなぐ学校保健活動27年

むずかしい法理論や保健学的俯瞰展望は、現場的ではないので、学校保健を支える組織のすべての人に、理解され実行し易いことを述べてみたい。

私は昭和27年4月から今日まで、27年間校医として学校保健を、学校教育の中にかにしたら位置づけられるか、ということに腐心してきた。

昭和28年から所属する中学校に「学校保健委員会」を発足させ、また高崎市学校保健会に「学校保健研究発表会」を定着させることができた。

昭和54年10月12日に、第26回目の発表会が、市、教育長臨席のもとに実施された。

この会が発足した当初は、主として三師会のわれわれが中心となって研究発表したのであるが、それが呼び水となって、今では小、中、高校の学童、生徒とPの若い母親たちが積極的に参加するようになり、学校医らは誌上発表をして、研究会では助言者になり、文字通り「出る幕がなくなった」のである。発表校も多くなり時間内に消化しきれないので、4年に1度の順番で発表することにしている。

発表校は学校保健委員会でテーマの設定から、まとめまで討議されるが、テーマによっては直ちに關

高崎市学校保健研究発表会主題一覧

発表順	研究主題名	発表校	発表学年	備考
1	本校における通学時の実態について	小学校	(3名) 2年・3年	O
2	私たちは毎日どのくらい外で遊んでいるか	小学校	(3名) 5年・6年	O
3	私たちの食生活	小学校	(2名) 6年	O
4	正しい姿勢にしよう	小学校	(3名) 6年	S
5	私たちのむし歯予防について	小学校	(2名) 6年	S
6	へらないむし歯、どうすればいいの？	小学校	(3名) 6年	O
7	本校における安全学習	小学校	(3名) 6年・PTA	S
8	よい姿勢	中学校	(4名) PTA	O S
9	勉強部屋の照明と机、椅子について	中学校	(2名) 2年	O
10	私たちのお弁当調査	中学校	(3名) 3年	O
11	私たちの心とからだについて	中学校	(3名) 3年	O
12	けがの原因を考える	中学校	(3名) 2年・3年	O S

※ O：オーバーヘッド使用 S：スライド使用

連の三師会の評価になるので、養護教諭と協力して委員会の活動もますます活発となってくる。

小・中・高校の格差もなくなり、Pの発表も「地域保健」との関連テーマで、聞き応えがあるものとなり、その成長度には驚くばかりである。

さて、およそ社会のいかなる集団でも、組織活動をするためには思考し、討論協議する委員会活動がなければならないものである。

「学校保健委員会」という組織活動は、個の養護教諭を援助し、学校長の学校経営を支持する学校保健関係者の、いわば「頭脳集団」ともいえる。

従って、学校保健委員会のない学校保健活動というのは、手足が動いているだけで、その中枢である頭脳集団がない「行動」であって、活動ではない。

「活動」とは脳でコントロールされ、集団では委員会で組織化されたものでなければならない。

おわりに、私が講師をしている群馬女子短大家政科1年生80名に、見学をさせレポートを求めた中から、代表的なものを紹介したい。

「発表の内容も立派であるが、それ以上に学校保健に皆で関心をもち、あれ程深く考えたことは素晴らしい。姿勢、ケガ、虫歯のことなど内容もさまざまであった。学校全体でとり組みは、先生1人ではどうにもならないことも解決する。生徒と保護者が力を出しあって取り組む姿勢に、頭が下がった。

私の地域（足利市）では、こんな立派な発表会はない。ぜひ全国に広めて頂きたいと思う。」と。

高崎市医師会長 村田謙二



みんなで考え

みんなで実践する健康づくり(中学校)

本校は、学校の努力目標の第一にある「強い身体と心をもった人になろう」の実現をめざして、定期的に四者が一堂に会して活動しているところに特色があると思われます。

今年度は、「脊柱側弯症調査に係わる推進校」の指定をうけているので、重点を正しい姿勢におき、それぞれの活動をすすめています。

〔生徒会保健委員会〕

各学級男女各1名(20学級)40名を次の5班に分けて仕事を分担しています。

- 1.朝食班 朝食の摂取状況調べや、正しい食事の啓蒙、貧血と食事との関係調べ。
- 2.健康班 側弯症生徒と正常生徒との体力テスト調査、側弯症予防のPR(図表化)、鉄棒ぶらさがりへの奨励を先生と体育委員会と協力してよびかける。
- 3.牛乳班 牛乳給食(本校は完全給食ではない)の残量調査、摂取のよびかけ、冷蔵庫の清掃等。
- 4.環境班 水道の水質検査(残量塩素の測定を毎日)照度測定、安全点検を学期毎に実施、洗面所点検。
- 5.統計班 校内の傷害調べ、欠席調べ等を継続して実施し図表化して全校へのPRを行う。

〔PTA保健委員会〕

各学級1名の選出20名で構成、毎年中心テーマを決めて活動しているが、今年は「子どもの正しい姿勢」をテーマに決め、側弯症の学習会・家庭における姿勢の実態(アンケート・懇談会)を調べる。家庭での体力づくりと栄養食品調べなどと中心に委員の学習と会員への啓蒙を保健だよりを通して実践している。9月の文化祭には、一教室を発表の場として生徒

と一緒に参加し、多くの見学者に感銘を与えた。

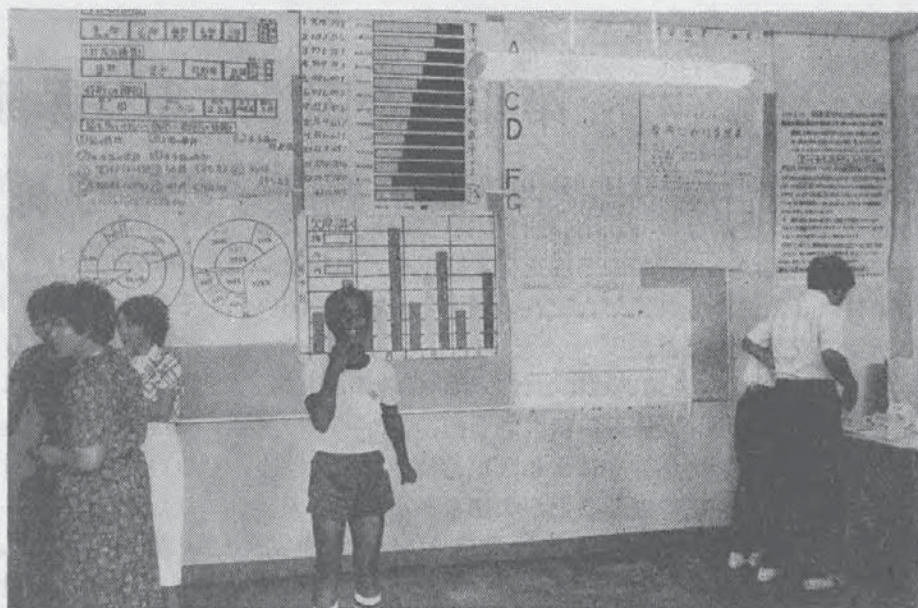
〔保健部〕

校長・教頭・教務・保健主事・養護教諭・給食・学年保健担当・生徒指導主事・体育主任を中心に構成、保健部職員が中心となり、全職員で日常活動をしている。もちろん、生徒会保健委員会の顧問、PTA保健委員会の顧問として連絡・調整に当たっているが本校では、保健委員と体育委員会が中心となり日課の最終時間に「毎日マラソン」を実施して体力づくりを行っている。今年は更にマラソンの途中、校庭の鉄棒ぶらさがりを取り入れ、毎日教師も生徒も汗を流している。

〔校医・薬剤師〕

内科と整形外科の校医さんを中心に“側弯症講演会・整形検診(830名全員・側弯症生徒要注意28名)内科検診(各学年3日間)肥満児・るいそう児健康相談・貧血検査(全員)等熱心にやっていただき、薬剤師さんには水質検査・照度検査を生徒に指導していただき、本校の学校保健委員会を盛り上げる大きな力になっています。

藤沢片瀬中 保健主任 松尾美喜子



昭和54年度

叙勲を受けられた学校保健の功労者

春

秋

<瑞 四>

- ◎学校歯科医
関口 龍雄 (東京都)

<旭 五>

- ◎学校医
尾野西三郎 (青森県) 黒木 良寛 (鹿児島県)
村瀬 幹雄 (三重県)
- ◎学校歯科医
赤祖父三郎 (富山県) 内海 濶 (大阪府)
林 広一 (滋賀県)

<瑞 五>

- ◎学校医
青木 孝一 (神奈川県) 安藤 謙 (千葉県)
遠藤 恭介 (長野県) 荻島辰之助 (埼玉県)
小村慎三郎 (島根県) 垣見助左衛門 (滋賀県)
車田 利雄 (福島県) 斎藤 仁代 (山口県)
相模 嘉平 (福井県) 永瀬 省吾 (茨城県)
中村 茂 (愛媛県) 樋口 正規 (長崎県)
- ◎学校歯科医
荒川 清吉 (静岡県) 浦 寛光 (福岡県)
大坪 繁 (佐賀県) 黒田 正智 (千葉県)
鳥居 清 (茨城県) 町田 正男 (茨城県)
村山喜代重 (長野県)

<瑞 四>

- 湯浅 謹而 (神奈川県)

<旭 五>

- ◎学校医
谷 久 (福島県)
- ◎学校歯科医
一瀬 耕介 (兵庫県) 山本雄三郎 (福岡県)
- ◎学校薬剤師
井上 恵三 (東京都)

<瑞 五>

- ◎学校医
葛城 晃彦 (茨城県) 貴志 源吾 (福井県)
公文 嘉美 (滋賀県) 斎藤 謙一 (埼玉県)
林 要一 (富山県) 東 栄 (北海道)
樋野 自愛 (島根県) 船坂三七郎 (岐阜県)
古谷 博 (千葉県) 増原 由一 (広島県)
- ◎学校歯科医
堀 英一郎 (長野県) 菅井シヅコ (愛媛県)
長内 良夫 (青森県) 上川 涉 (東京都)
光安 義夫 (長崎県) 近藤 昭 (神奈川県)
松本 啓治 (石川県)

<旭 六>

- ◎学校薬剤師
山治長太郎 (大阪府)

第43回全国学校歯科保健大会

日本学校歯科医会は11月9日10日の2日間、神戸国際会館をメイン会場として、第43回全国学校歯科保健大会を挙行、全国から1800名の参加を得て盛況をきわめた。第1日は3領域に分れ、それぞれの会場で協議会を開いて所期の成果をあげた。

第1領域 「医療希薄地域における歯科保健のあり方」
(於 兵庫県歯科医師会館)

交通事情や地理的条件等による医療希薄地域における学校歯科保健の充実を図ることが大切である。そこで学校歯科医、行政等の連携を密にし、学校歯科保健の充実、振興のためより効果的な方法をみつけるための研究協議を行った。

第2領域 「学級指導を中心とした歯の保健指導の進め方」
(於 神戸東灘小)

学校における歯科保健指導の中核は、学級指導であり、その学級指導年間計画の中に歯科保健指導の内容と時間が明確に位置づける。更に学校行事、児童活動における指導、日常生活における随時、随所ならびに継続的な指導が、学級指導と関連を図りながら進められるのが望ましい。東灘小学校の研究実践を見学して研究協議が行われた。

第3領域 「よい歯の生涯保健のために」
(於 神戸市立歌敷山中)

近年国民生活の向上に伴い、生徒の体は向上したが、

第29回 全国学校保健研究大会において 文部大臣表彰の個人・団体・学校

◇学校医 24名

福田 良平 (北海道)	本間 吾市 (北海道)
藤島 均 (青森県)	平野 寿 (埼玉県)
田中 實 (東京都)	正木 隆男 (富山県)
吉田 正明 (石川県)	小俣 一也 (山梨県)
神谷 一夫 (静岡県)	棚橋 龍三 (愛知県)
鬼頭 逸雄 (愛知県)	久保井道雄 (滋賀県)
小林 秀男 (奈良県)	黒田 健雄 (和歌山県)
馬庭 勉 (島根県)	藤原 弘 (岡山県)
中丸 治 (広島県)	高橋 晋 (徳島県)
森 勝三郎 (徳島県)	前田犬千代 (高知県)
鈴来 久生 (福岡県)	大塚 元男 (熊本県)
篤永 信喜 (熊本県)	田村 醒郎 (宮崎県)

◇学校歯科医 20名

庄内 正春 (北海道)	高橋 文平 (宮城県)
谷 邦全 (茨城県)	澤辺 安正 (埼玉県)
内藤 真一 (神奈川県)	一戸 俊治 (神奈川県)
高橋 謙作 (神奈川県)	坂井 登 (岐阜県)
夫馬 嘉男 (愛知県)	寺本 藤助 (三重県)
天津 武男 (大阪府)	土居 信久 (大阪府)
谷上 利夫 (兵庫県)	前田 秀夫 (和歌山県)
原 祐五郎 (島根県)	神力 卯一 (山口県)
山本 映太 (福岡県)	原 喜久二 (佐賀県)
江崎 清 (長崎県)	堀之内哲夫 (宮崎県)

◇学校薬剤師 9名

青柳 澄 (山形県)	石井 茂 (千葉県)
植木 武男 (東京都)	杉沢 昌吾 (新潟県)
貝川 一男 (京都府)	阪本 壽 (大阪府)
山口 吉昭 (兵庫県)	尾崎 泰男 (鳥取県)
野間 二郎 (広島県)	

◇校長 6名

三田地智雄 (岩手県)	堀内 尚吉 (栃木県)
塚田 實 (栃木県)	青池甚太郎 (福井県)
知念 清 (沖縄県)	島袋 徳盛 (沖縄県)

◇教頭

森田 鐵亀 (高知県)

◇教諭

柴田 富貴 (愛知県)

◇保健主事

古賀 義次 (福岡県)

◇養護教諭 7名

戸澤 光枝 (秋田県)	大橋 京子 (福島県)
白井 秀子 (茨城県)	斎藤カツ江 (群馬県)
三宅 芳江 (滋賀県)	木村 まつ (京都府)
小野小夜子 (大分県)	

◇保健関係団体役員 3名

近藤 一正 (岩手県)	小笠原正尚 (大分県)
山口 勇郎 (鹿児島県)	

◇学校 7校

秋田県鷹巣町立鷹巣西小学校
 福島県白河市立白河第一小学校
 長野県岡谷市立長地小学校
 滋賀県秦荘町立秦荘西小学校
 岡山県阿波村立阿波小学校
 香川県志度町立小田小学校
 愛媛県伊予三島市立中之庄小学校

◇保健団体 3団体

東京都北区学校保健会
 東京都豊島区学校薬剤師会
 和歌山県海南市医師会学校医部会

う歯の増加が著しく、社会的にもその予防が強く望まれている。この問題解決のため、生徒1人1人が自分の健康上の問題を自分で考え、生活環境の変化に適応して処理できる態度や習慣を身につけさせる。

大会式典はあいにくの雨の中、2日目の午前10時、神戸国際会館大ホールで開会され、「全日本より歯の学校表彰」「奥村賞」の授与が行われ、祝辞に入り、文部大臣、厚生大臣、武石日歯副会長、日本学校保健会の東会長、酒井兵庫県知事、宮崎神戸市長がそれぞれ祝辞をのべられた。次期開催地を「鹿児島県」と決定し大会式典を終わった。

昼食時には、郷土芸能の淡路民舞「奴踊り」が行われ、午後1時から前神戸美術館長の荒尾親成氏が「神戸の歴史あれこれ話」と題して、巧みな話術で参加者を楽しませた。ついで研究協議会報告、全体協議会、大会宣言を

採択し、盛会裡に2日間にわたる大会を終了した。

日本学校歯科医会 常務理事 石川行男



日本学校保健会に対する理解と期待

学校保健センター的事業

資料普及委員会

日本学校保健会において実施している諸事業が全国の各学校において、よく理解され、本会の発行する資料等が活用されて、学校保健の向上に役立つこと、及び現場の要望に応えるための事業を実施するための資料としたい考えから、先般、日本学校保健会の資料普及部において、アンケート調査を実施致したので、その結果の梗概を述べる。

1. 調査項目

- (1) 日本学校保健会の存在の理解
- (2) 当会の出版物の理解及び利用
- (3) 当会の事業に対する要望

2. 調査期間

昭和54年9月～10月16日の間

3. 調査方法

全国の小学校をランダム方式で、2,000校を選び、往復葉書によって報告を求めた。

4. 調査結果

- (1) 解答者数 813校 (40.65%)
- (2) 職名別解答者 養護教諭 656名 (80.69%)
管理職 76名 (9.35%) 保健主事・教諭 81名 (9.96%)
- (3) 日本学校保健会の存在 知っている 745名 (91.64%) 知らない 68名
- (4) 当会の出版物に対する理解 (主なもの)

A 会報「学校保健」	657	80.81%
B 学校保健の動向	366	45.02%
C ぜん息児の保健管理指針	93	11.44%
D 学校保健関係法令集	409	50.31%
E 肥満とやせ指導の実際	208	25.58%
F 脊柱側弯	192	23.62%
- (5) 当会の事業に対する要望 (主なもの)

A 脊柱側弯	252	31.00%
A 学校保健委員会	277	34.07%
C 性教育	322	39.61%
D 近視	246	30.26%

E 肥満とやせ……………193…23.74%

F 精神衛生……………286…35.18%

5. 要約

- (1) 解答率 前回、類似の調査をした時の解答率に比較し、3倍近い解答率で、予期以上の解答を得たと考えている。
- (2) 解答者の職種 養護教諭の多い事は、予期の通りであるが、管理職が9%以上ある事は、学校保健の向上に甚だ喜ばしい事と思う。
- (3) 日本学校保健会の存在の理解 この事に関しては、68名(8.36%)が知らないという解答であるが、これを職種別にみると、養護教諭51名、管理職2名、保健主事・教諭15名であった。この結果に対し、当会の今後の活動に対して一つの反省となるものと考えられる。
- (4) 当会の出版物に対する利用 Aに対して80%以上が利用している事は、前回調査時に対し、倍近くの増加であり、予期以上のものであった。Bは、日本の学校保健に関し、年度毎の乳幼児期を含め、保健、安全、学校給食に関する総合的に取扱ったもので、最も期待している出版物であるが、予期以下の解答であり、その他の出版物も、Dを除いて低率である事は、今後の普及に新たな工夫の必要が感ぜられた。
- (5) 当会の事業に対する要望 当会のセンター的事業においては、当面の調査研究課題として、歯口腔・腎疾患・心疾患、脊柱側弯・貧血・視力・登校拒否等情緒障害・保健室経営・運動医事・健診充実・学校環境等を取り上げ調査研究中で、それらの成果を出版する事によって、ある程度要望に応えることができるが、C性教育、B学校保健委員会等については、この調査結果を、理事会等に諮り、要望に添うため、新たな努力が必要と思われる。

(文責 下田 巧)

第27回 北陸三県学校保健研究協議会

昭和54年11月16・17日の2日間、福井県大野市有終東小学校を主会場に、保健主事、養護教諭をはじめ学校保健関係者500余名が参集し、富山、石川、福井三県の学校保健に関する共通の問題について熱心な研究協議が行われました。

「自ら求める健康づくり」という標題のもとで、一般授業をはじめ全校運動、リズム表現の公開があり、班別協議では組織活動、保健管理など6領域に分かれて実践研究の発表と協議が行われた。全体会においては、地元大野市保健分会の研究発表があり、具体的に保健指導資料が提示され、参加者にたいへん好評でした。特別講演では、関東中央病院小児科部

長の川崎憲一先生が深いご研究と豊富なご経験の中から、児童生徒の保健管理の問題点とその対策について、講演いただき深い感銘を受けました。

この2日間を通じて協議されたことは、ひとりひとりが自ら自分の健康をつくりだしていく子どもの育成であり、問題解決のためには、単に学校だけにとどまらないで、地域社会にまで働きかけることが大切であるということでした。次年度開催地の石川県小松市での再会を約して、2日間にわたる熱心な研究協議会の幕がおろされました。

福井県大野市学校保健分会 理事 亀谷 学

第25回 中国地区学校保健研究協議大会

— 教師集団の人間関係を重視して —

人間性豊かでたくましい児童生徒の育成をめざしてを主題にかかげ、当面する学校保健・安全に関する諸問題について研究協議を行い、その充実発展を期して、平和都市広島で開催。

1. 期 日 昭和54年11月7日(水)～9日(金)

2. パネルディスカッション —人間性豊かでたくましい児童生徒を育成するための役割—

山本勉(岡山短大) 桑原正彦(広島市八木小) 宮部 晃(安来市宇賀荘小) 堀江正国(徳山市大島小) 近藤のぶ子(鳥取県米子高)

3. 講 演 児童生徒の健康増進と学校保健

講 師 東京学芸大教授 小野三嗣

4. 班別研究 保健、安全の管理と指導。組織活動で小中高8班に分かれて、生命の尊重を深く認識させる内容と方法について協議。

学校の保健安全指導を徹底させるためには、教師はもちろん、児童生徒、父母まで含め、その重要性について共通理解を深め、それぞれの立場で積極的



にとりくむことを話しあった。具体事例をあげると

- ① 健康教育は、自己観察の知識が第1歩。
- ② 現在⇔将来に直面する保健安全に対する知識。
- ③ 健康生活を実践できる能力と態度の育成。

学校保健の推進を阻む問題は多いが、地道にしかも、根気よく実践することを確認しあって大会を終った。

広島県教委 保健体育課課長補佐 藤本坂治

肉体疲労時のVB₁補給に

アリナミンA

筋肉痛・腰痛・神経痛・肩こりの緩和、脚気、病中病後・妊娠授乳期のビタミンB₁補給にも。

武田薬品工業株式会社
〒541 大阪市東区道修町2-27



学童の集団検尿には 潜血検査も

キッドステックTM



ヘマコンビステック[®]

製造元：エームス事業部 販売元：三共株式会社
マイルス・三共株式会社

肉体疲労時の栄養補給

虚弱体質に

ポポンS錠

シオノギ製薬

学校保健の動向

—昭和54年度版—

最新の統計資料を駆使し、文字通り現在の保健の動向を示して、保健教育に当たる方の座右の書

日本学校保健会で申込受付中
東山書房発行 1800円
〒615 京都市右京区山ノ内大町5-3
電話 (075) 841-9278

体力をつけ健康を保つ **カワイ** のビタミンAD剤

カワイ肝油ドロップ

カワイカンズドロップM

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位
 ビタミンD₂ 200国際単位

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位
 ビタミンD₂ 200国際単位
 リン酸水素カルシウム 65mg



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8

これからの教室、体育館などの学校清掃管理は——SCシステムで!



- 塗るだけでピカピカ!
- 滑らないので安全です
- 水性タイプなので安全、清潔です



ペンギンワックス

推薦 日本学校保健会

カタログご希望の方は、SCS保苑お申し込み下さい。

本社 大阪市東成区東中本3-10-14(〒537) TEL06 (976)1451

歯ブラシはお口に合せて選びましょう。



推薦 日本学校保健会

バネット **ライオン** ジュニア ライオン歯磨株式会社